



## 新規採用常備医薬品等のお知らせ

令和4年3月10日に開催された薬事委員会において、別紙のとおり、新規採用医薬品、削除医薬品の各品目が承認されました。

令和4年4月5日（火）からオーダー開始しました。

## 『プリミドン錠250 mg「日医工」』オーダー一時停止のお知らせ

抗てんかん剤『プリミドン錠250 mg「日医工」』につきまして、製薬企業への業務停止命令及びその後の慎重な品質評価の実施による製造遅延から、一時供給停止となりました。そのため、院内在庫が欠品となったことから、2022年3月18日より処方オーダーを一時停止しました。

なお、本剤の当院採用の代替薬は以下の薬剤となっております。

### 【当院採用の代替薬】

- ・プリミドン細粒99.5%「日医工」

今後の安定した供給再開の見込みにつきましては分かり次第、連絡致します。

## 「コートロシンZ筋注0.5 mg」オーダー一時停止のお知らせ

持続性合成ACTH製剤「コートロシンZ筋注0.5 mg」につきまして、アメリカからの輸入品である製造上必要な消耗品の納期が遅延し、本製品が製造遅延となり、一時的に欠品が避けられない状況となりました。

本件を受け、当院においては購入できる限り処方オーダーを継続していましたが、この度、納品の目処が立たなくなり欠品することとなったため、3月24日より処方オーダーを一時停止しました。

本製品においては代替薬が無く、出荷再開時期は2022年12月の予定となっております。出荷再開が確認でき次第、改めて連絡いたします。

## 「アロキシ静注 0.75 mg」オーダー停止のお知らせ

5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗型制吐剤「アロキシ静注 0.75 mg」につきまして、輸入元より、バイアルのゴム栓の製造工程で使用されるシリコンに由来する異物発見の連絡をうけ、シリコン自体に毒性はありませんが、本剤の輸入が一時停止し、供給停止となりました。そのため当院在庫も欠品となったことから、4月5日より処方オーダーを停止しました。

なお、本剤の代替薬として「アロキシ点滴静注バッグ 0.75 mg (50 mL)」の処方オーダーを4月5日から開始しました。

## 効能・効果、用法・用量追加等のお知らせ

### ◎フィブリノゲン HT 静注用 1 g「JB」(一般名:乾燥人フィブリノゲン)〈血漿分画製剤(血液凝固剤)〉

【効能・効果】産科危機的出血に伴う後天性低フィブリノゲン血症に対するフィブリノゲンの補充

【用法・用量】注射用水に溶解し、1回3 gを静脈内投与する。投与後に後天性低フィブリノゲン血症が改善されない場合は、同量を追加投与する。

### ◎ジセレカ錠 100 mg(一般名:フィルゴチニブマレイン酸塩)

〈関節リウマチ、潰瘍性大腸炎治療剤(ヤヌスキナーゼ阻害剤)〉

【効能・効果】中等症から重症の潰瘍性大腸炎の治療及び維持療法(既存治療で効果不十分な場合に限る)

【用法・用量】通常、成人にはフィルゴチニブとして200 mgを1日1回経口投与する。なお、維持療法では、患者の状態に応じて100 mgを1日1回投与できる。

### ◎スピラザ髄注 12 mg(一般名:ヌシネルセンナトリウム)〈脊髄性筋萎縮症治療剤〉

※臨時採用医薬品

【効能・効果】臨床所見は発現していないが遺伝子検査により発症が予測される脊髄性筋萎縮症

【用法・用量】通常、ヌシネルセンとして、1回につき下表の用量を投与する。初回投与後、2週、4週及び9週に投与し、以降4ヵ月の間隔で投与を行うこととし、いずれの場合も1~3分かけて髄腔内投与すること。  
☆下表省略 添付文書参照

### ◎タリージェ錠 2.5 mg、5 mg、10 mg(一般名:ミロガバリンベシル酸塩)

〈神経障害性疼痛治療剤〉 ※2.5 mg、10 mgは院外専用医薬品

【効能・効果】神経障害性疼痛(\*中枢性疼痛にも適応拡大)

### ◎オブジーボ点滴静注 20 mg、240 mg(一般名:ニボルマブ(遺伝子組換え))

〈抗悪性腫瘍剤(ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体)〉

【効能・効果】尿路上皮癌における術後補助療法

【用法・用量】通常、成人にはニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回240 mgを2週間間隔又は1回480 mgを4週間間隔で点滴静注する。ただし、投与期間は12ヵ月間までとする。

### ◎カイトリル注 1 mg(一般名:グラニセトロン塩酸塩)〈5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗型制吐剤〉

【効能・効果】術後の消化器症状(悪心、嘔吐)

【用法・用量】通常、成人にはグラニセトロンとして1回1 mgを静注又は点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、1日3 mgまでとする。

### ◎ユニタルク胸膜腔内注入用懸濁剤 4 g(一般名:タルク)〈胸膜癒着療法剤〉

【効能・効果】外科手術による治療が困難な続発性難治性気胸

【用法・用量】通常、成人には、本剤(4 g/バイアル)を日局生理食塩液50 mLで懸濁して、胸膜腔内に注入する。

【用法及び用量に関連する注意】

効果不十分と判断され、ドレナージチューブ抜管前に同側肺の胸膜腔内に本剤を追加投与する場合には、7日間以上の間隔をあけて、1回4 gを1回のみ追加注入すること。

### ◎ネオーラル内用液 10%、ネオーラル 10 mg、25 mg カプセル(一般名:シクロスポリン)〈免疫抑制剤〉

【効能・効果】細胞移植に伴う免疫反応の抑制

【用法・用量】再生医療等製品の用法及び用量又は使用方法に基づき使用する。

### ◎ベクルリー点滴静注用 100 mg(一般名:レムデシビル)〈抗ウイルス剤〉

※下線部追加

【効能又は効果に関連する注意】

臨床試験等における主な投与経験を踏まえ、以下の患者を対象に投与すること。また、本剤の投与対象については最新のガイドラインも参考にすること。

・酸素投与を要しない患者であって、SARS-CoV-2による感染症の重症化リスク因子を有する等、本剤の投与が必要と考えられる患者。

・SARS-CoV-2による肺炎を有する患者。

【用法及び用量に関連する注意】

SARS-CoV-2による感染症の症状が発現してから速やかに投与を開始し、3日目まで投与する。ただし、SARS-CoV-2による肺炎を有する患者では、目安として、5日目まで投与し、症状の改善が認められない場合には10日目まで投与する。

## 生殖補助医療の効能・効果、用法・用量追加・改訂のお知らせ

### ◎ルナベル配合錠ULD(一般名:ノルエチステロン・エチニルエストラジオール) <月経困難症治療剤>

【効能・効果】生殖補助医療における調節卵巣刺激の開始時期の調整

【用法・用量】1日1錠を毎日一定の時刻に、通常、14～21日間経口投与する。

### ◎スプレキア点鼻液 0.15%(一般名:ブセレリン酢酸塩) <GnRH 誘導体制剤>

【効能・効果】生殖補助医療における卵胞成熟

【用法・用量】左右の鼻腔に各々1噴霧投与を1回投与(1回あたりブセレリンとして計300  $\mu$ g)とし、通常、採卵の34～36時間前に2回投与するが、患者の反応に応じて、投与回数は1回～4回の範囲で適宜調節する。

### ◎フェマーラ錠 2.5 mg(一般名:レトロゾール) <抗悪性腫瘍剤(アロマターゼ阻害剤)>

【効能・効果】生殖補助医療における調節卵巣刺激

【用法・用量】通常、成人にはレトロゾールとして1日1回2.5 mgを月経周期3日目から5日間経口投与する。十分な効果が得られない場合は、次周期以降の1回投与量を5 mgに増量できる。

### ◎ジェミーナ配合錠(一般名:レボノルゲストレル・エチニルエストラジオール)

<月経困難症治療剤> ※院外専用医薬品

【効能・効果】生殖補助医療における調節卵巣刺激の開始時期の調整

【用法・用量】1日1錠を毎日一定の時刻に、通常、14～28日間連続経口投与する。

### ◎ゴナールエフ皮下注ペン 900(一般名:ホリトロピン アルファ(遺伝子組換え))

<遺伝子組換えヒト卵巣刺激ホルモン(FSH)>

※下線部削除

【効能・効果】生殖補助医療における調節卵巣刺激

【用法・用量】調節卵巣刺激には、ホリトロピン アルファ(遺伝子組換え)として通常150又は225 IUを月経周期2日目又は3日目から1日1回皮下投与する。患者の反応に応じて1日450 IUを超えない範囲で適宜用量を調節し、卵胞が十分に発育するまで継続する。本剤の最終投与後、卵胞最終成熟を誘発するためにhCG(ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン)製剤を投与する。

## 「ウトロゲスタン腔用カプセル200 mg」薬価基準収載のお知らせ

不妊治療に係る経済的負担の軽減を図るため、第138回社会保障審議会医療保険部会において、本年4月から不妊治療に関する医薬品の保険適用を実施することが結論付けられました。

これにより、令和4年4月1日より天然型黄体ホルモン製剤「ウトロゲスタン腔用カプセル200 mg」が薬価基準に収載されました。

## 「ザバクサ配合点滴静注用」オーダ再開のお知らせ

$\beta$ -ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤「ザバクサ配合点滴静注用」につきまして、DI-EXPRESS(2021.1)でお伝えしましたように、製造工場からの出荷試験において、一部のロットで無菌試験の規格に適合しない結果が確認されたことから、使用期限内の製品すべてが自主回収となり、出荷も停止となりました。そのため、2020年12月17日より本剤の処方オーダを一時停止しておりました。

このたび、本剤の供給が再開したことから、2022年4月12日より処方オーダを再開しました。

## 「ベクルリー点滴静注用 100 mg」が『保険医が投与することができる注射薬の対象薬剤』に追加されました

抗ウイルス剤「ベクルリー点滴静注用100 mg」につきまして、2022年1月21日の中央社会保険医療協議会・総会（中  
医協）において、『保険医が投与することができる注射薬の対象薬剤』として追加することが了承されました。  
これに伴い、医師の指示の下で看護師が在宅療養患者等へベクルリーの投与が可能となりました。

## 禁忌削除のお知らせ

◎ノルディトロピンフレックスプロ注 10 mg（一般名：ソマトロピン（遺伝子組換え））

＜ヒト成長ホルモン（遺伝子組換え）製剤＞

【禁忌】糖尿病患者 [成長ホルモンが抗インスリン様作用を有するため。]

## オーダ切替え予定のお知らせ

※在庫がなくなり次第、変更します。

変更前		変更後	販売中止予定時期
ネオバルギンHD	→	バリトップHD	2022年3月頃

## 包装変更等のお知らせ

◎レパーサ皮下注 420 mg オートミニドージャー（一般名：エボロクマブ（遺伝子組換え））

＜高コレステロール血症治療剤（ヒト抗 PCSK9 モノクローナル抗体製剤）＞

自動注入時間が約 9 分から 5 分に変更

◎ネオオーラル内用液 10 %、ネオオーラル 10 mg、25 mg カプセル（一般名：シクロスポリン）＜免疫抑制剤＞

アルミシートの色が金色から銀色へ変更

◎ビレーズトリエアロスフィア56吸入

（一般名：ブデソニド・グリコピロニウム臭化物・ホルモテロールフマル酸塩）＜COPD治療配合剤＞

吸入デバイスの変更

## 院内副作用報告

院内において以下の副作用が報告されましたのでお知らせいたします。

医薬品名	副作用
カボメティクス錠	急性心不全

上記薬剤を使用する際には、副作用の発現にご注意ください。

## 持参薬の薬品名、規格等の確認の徹底について

入院時に持参された内服薬は、患者さんの治療に欠かせないものであり、入院後も継続して使用したり、院内採用薬に切り替えることもあります。適切な薬物療法のために、薬品名、規格、用法用量等の確認を徹底しましょう。

☆Drug Safety Update No.307 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容
チカゲレロル（ブリンタ錠）	※重大な副作用：追記 高度な房室ブロック、洞停止等の徐脈性不整脈
コンテダニブエタンサルホン酸塩 （オフェブカブセル）	※重要な基本的注意：追記 ネフローゼ症候群があらわれることがあるので、投与期間中は尿蛋白を定期的に検査すること ※重大な副作用：追記 ネフローゼ症候群

## &lt;別紙1&gt;新規採用医薬品・削除医薬品等一覧

## 【1】新規採用依頼医薬品

## ①常備医薬品(合計9品目)

2022年4月5日オーダ開始予定

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
1	アソビ皮下注射液 <sup>®</sup> 119	注	225mg	-	41356.0	大塚製薬	Fremanezumab(Genetical Recombination) 片頭痛治療薬(ヒト化抗CGRPε/κ-α1抗体製剤) ★片頭痛発作時に発現が認められるCGRPに特異的に結合する、ヒト化抗CGRPε/κ-α1抗体 ★頭痛の診療ガイドライン2021において、抗CGRP抗体は、既存の片頭痛予防治療薬で治療が奏功しない症例に対して有効性が確認されている(強い推奨、エビデンスの確実性:A) ★ライフスタイルにあわせた2つの投与方法(4週間に1回、12週間に1回)が選択できる 【発売:2021/8/30】
1	イルミア皮下注射液 <sup>®</sup> 399	注	100mg	劇	487413.0	サンファーマ	Tildrakizumab(Genetical Recombination) 尋常性乾癬治療薬(ヒト化抗IL-23p19ε/κ-α1抗体製剤) ★尋常性乾癬に適応とする生物学的製剤として、最も投与本数が少なく(毎回1本)、投与間隔が長い(0、4週、以降12週間隔) ★本剤は、尋常性乾癬に使われる他のIL-23系の薬剤の中でも長期の安全性に最も優れているとされている ※使用量の増加が予想されるため、臨時採用から常備へ 【発売:2020/9/23】
1	エネリート <sup>®</sup> 325	輸液	550mL	-	1059.0	大塚製薬工場	アミノ酸・糖・電解質・脂肪・水溶性ビタミン液 末梢静脈栄養剤 ★アミノ酸、ブドウ糖、電解質に加えて脂肪及び水溶性ビタミン9種類(B <sub>1</sub> 、B <sub>2</sub> 、B <sub>6</sub> 、B <sub>12</sub> 、ニコチン酸アミド、パント酸、ビオチン及びC)をダブルバッグに単剤化したPPN用キット製剤である ★本剤のエネルギ-産生栄養素バランスは、たんぱく質(アミノ酸)19%、脂質32%、炭水化物48%となっている ★アミノ酸組成は、TEO基準に従い、18種類のアミノ酸から成り、分岐鎖アミノ酸を30w/w%含有している。また、水溶性ビタミンの処方、FDAが2000年に発出したFDA2000処方参考を参照している ★脂肪源の大豆油は、必須脂肪酸であるリノール酸、リルン酸を約60%含んでおり、これらを含む脂肪酸を補給できる。また、脂肪の配合濃度が1.8%であり、脂肪を緩徐に投与できる 【発売:2020/12/15】
1	エフィエント <sup>®</sup> 339	錠	2.5mg	ハイリスク	195.7	第一三共	Prasugrel Hydrochloride 抗血小板剤 ★虚血性脳血管障害(大血管アテローム硬化又は小血管の閉塞に伴う)後の再発抑制に適応が追加となった ★通常、本剤3.75mgを1日1回内服するが、体重50kg以下では出血の危険性が増大するため、2.5mgへの減量を検討するとされている ★脳梗塞は高齢者に多く、高齢女性の多くは体重50kg以下であり、減量の検討が必要となる ※他規格3.75mg、5mgが常備医薬品として採用 【発売:2015/11/30】
1	ジクトレーブ <sup>®</sup> 114	外用	75mg	-	156.5	久光製薬	Diclofenac sodium 経皮吸収型 持続性がん疼痛治療剤 ★がん疼痛に対する鎮痛の適応があるNsaidsは今まで注射剤しかなく、貼付剤といった世界初の剤型で新たな患者さんの選択肢になりうる ★悪心・嘔吐・嚥下困難・消化管閉塞などで嚥下又は消化できない場合はより優先度が高くなり、また注射剤と比較すると穿刺時痛がなく、拘束的になる必要もなく疼痛治療が行える ★1日1回貼付 ★患者の服薬状況が家族及び介護者にも目視で確認できること(貼付忘れや過剰投与の防止)、食事による投与タイミングの制限がないことで服薬アドヒアランス向上も期待できる 【発売:2021/5/21】
1	ダラキューロ配合皮下注 429	注	ダラツムマブ <sup>®</sup> (遺伝子組換え) 1800mg ホルヒアルロニダーゼ <sup>®</sup> アルファ <sup>®</sup> (遺伝子組換え) 30000単位	劇 ハイリスク	434,209.0	ヤンセンファーマ	Daratumumab/Vorhyaluronidase Alfa 多発性骨髄腫治療薬(ヒト型抗CD38ε/κ-α1抗体/ヒアルロン酸分解酵素配合剤) ★日本で初めてホルヒアルロニダーゼ <sup>®</sup> アルファ <sup>®</sup> (rHuPH20)を配合したダラツムマブの皮下投与製剤 ★皮下注射で投与時間の短縮が得られ、また投与量の調整も不要なため待ち時間の短縮等、外来化学療法を行う上でメリットがある ★本剤は全身性ALアミロイド-osisに対する適応も追加され、今後使用症例が増加することが見込まれる ※使用量が多いため、臨時採用から常備へ 【発売:2021/5/19】
1	ハドセフ点滴静注用 429	注	30mg	劇 ハイリスク	99,609.0	アステラス製薬	Enfortumab Vedotin (Genetical Recombination) 抗悪性腫瘍剤(抗Nectin-4抗体微小管阻害薬複合体) ★本剤は、抗Nectin-4ヒト型IgG1モノクローナル抗体と微小管重合阻害作用を有するMMAEを、リンカ-を介して共有結合させた抗体薬物複合体である ★白金系抗悪性腫瘍剤及びPD-1/PD-L1阻害剤による治療歴を有する局所進行性又は転移性尿路上皮癌患者において、全生存期間の延長及び臨床的ベネフィットが確認されている ※緊急使用医薬品として購入歴あり 【発売:2021/11/30】

1	ラスリック点滴静注用 395	注	7.5mg	劇	51463.0	サノフィ	Rasburicase(Genetical Recombination) がん化学療法用尿酸分解酵素製剤 ★本剤はがん化学療法に伴う高尿酸血症に対して極めて有効な薬剤(遺伝子組換え型尿酸オキシダーゼ) ★投与後4時間で速やかに尿酸減少効果を示し、有効率は95%以上であった ★腫瘍量の多い急性白血球や悪性リンパ腫に対する化学療法を行う際、腫瘍崩壊症候群に伴う高尿酸血症が懸念される症例に対して緊急で使用される可能性あり ※使用量が多いため、臨時採用から常備へ 【発売:2010/4/5】
1	レキサリテOD 117	錠	1mg	劇	260.6	大塚製薬	Brexiprazole 統合失調症治療剤 ★セロトニン5-HT <sub>2A</sub> 受容体拮抗剤(SDAM) ★唾液で服用可能な口腔内崩壊錠 ★普通錠と同薬価 ※他規格2mgが院外専用医薬品として申請あり 【発売:2021/11/30】

②救急用医薬品(合計2品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
2	テタノブリンH静注 634	注	250単位	特生	3,971.0	日本血液製剤機構	Polyethylene Glycol Treated Human Anti-Tetanus Immunoglobulin 血漿分画製剤 ★使用頻度は少ないが、救命センターには多数外傷患者が搬送され、その中には一定数高度な汚染を伴った患者が含まれ、破傷風の予防が必要となる可能性がある ★破傷風治療ができる施設は限られており、当院は県内各地から破傷風患者が発生しときには紹介されてくる ★静注後速やかに血清中破傷風抗毒素価が上昇する ★破傷風発症のおそれのある外傷・熱傷患者に対する破傷風発症予防、あるいは破傷風患者に対する症状の軽減効果を示す ※常備薬から救急用医薬品として区分変更 【発売:1998/3】
2			1500単位		21,245.0		

⑥臨時採用医薬品(合計2品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
6	クリスビータ皮下注 399	注	20mg	劇	608,282.0	協和キリン	Burosumab (Genetical Recombination) くる病・骨軟化症治療薬(ヒト型抗FGF23モノクローナル抗体) ★世界初の線維芽細胞増殖因子23(FGF23)を標的とするヒト型 IgG1 モノクローナル抗体 ★本剤は、FGF23 に結合し、その過剰な作用を中和することで、腎臓でのリン再吸収を正常化し、血清リン濃度を上昇させる ★現在30mg使用患者に40mg(20mg2本)へ増量 ★自己注射可能 【発売:2019/12/6】
6	コハールトリー静注用 634	注	2000単位	生	158,317.0	ハイエル薬品	Octocog Beta(Genetical Recombination) 遺伝子組換え型血液凝固第Ⅷ因子製剤 ★本剤は、コーズネイトFSと同じアミノ酸配列を有する非修飾、完全長の遺伝子組換え型ヒト血液凝固第Ⅷ因子(rFⅧ)製剤 ★アプレフィルドシリンジで溶解操作が簡便である 【発売:2016/6/29】

⑦院外専用医薬品(合計6品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
7	アトルバスタチン「DSEP」 218	錠	10mg	-	24.2	第一三共イソファ	Atorvastatin Calcium Hydrate 高脂血症治療薬(HMG-CoA還元酵素阻害剤) ★エゾイット錠2.5mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する ※他規格5mgが常備医薬品として採用あり 【発売:2012/6/22】
7	イレッサ 429	錠	250mg	劇 ハイリスク	4,395.6	アストラゼネカ	Gefitinib 非小細胞肺癌治療剤(上皮成長因子受容体(EGFR)チロシナーゼ阻害剤) ★高齢者や他のTKIの有害事象で継続困難な場合に外来で使用 ★常備医薬品から院外専用医薬品に区分変更する 【発売:2002/7/16】
7	オダイン 429	錠	125mg	劇 ハイリスク	198.5	日本化薬	Flutamide 前立腺癌治療剤 ★ハトセブ点滴静注用30mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:1994/12/5】
7	ツムラの生薬コウジン末(調剤用) 510	散剤	-	-	34.1/g	ツムラ	コウジン 生薬製剤 ★シクテルテープ75mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:1990/7/13】
7	フロリン外用液5% 267	外用	30mL	-	25.4/mL	第一三共	Carpronium Chloride Hydrate 脱毛症・白斑用剤 ★イルミア皮下注100mgシリンジ採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:1969】

7	レキサルティOD 117	錠	2mg	劇	496.5	大塚製薬	Brexiprazole 統合失調症治療剤 ★セロニドハミンアクトビティモジュレーター(SDAM) ★唾液で服用可能な口腔内崩壊錠 ★普通錠と同薬価 ※他規格1mgが常備医薬品として申請あり 【発売:2021/11/30】
---	-----------------	---	-----	---	-------	------	---

【2】新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品(合計4品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	スプレキュアMP皮下注	注	1.8mg	劇	アジヨビ皮下注225mgシリンジ採用の場合、削除
1	ソルコセル	注	2mL	-	エネフリート輸液(550mLパック)採用の場合、削除
1	ダラザレックス点滴静注	注	100mg	劇	ラスリテック点滴静注用7.5mg採用の場合、削除
1			400mg	ハイリスク	ダラキューロ配合皮下注採用の場合、削除

※削除可能医薬品は、次回薬事委員会までに全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、次回薬事委員会の承認を経て、削除します。ただし、治療に問題のある場合は、削除可能医薬品の変更等の手続きが必要となります。

【3】削除医薬品(合計10品目)

2022年4月5日に削除または移行予定

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	アトルバスタチン「DSEP」	錠	10mg	-	エフィエト錠2.5mg採用のため、区分7へ移行 ※同成分薬:アトルバスタチン錠5mg「DSEP」が常備医薬品として採用あり
1	イレッサ	錠	250mg	劇 ハイリスク	区分7へ移行
1	オダイン	錠	125mg	劇 ハイリスク	ハドセブ点滴静注用30mg採用のため、区分7へ移行
1	シスプラチン「日医工」	注	25mg	毒 ハイリスク	ハベンチオ点滴静注200mg採用のため、削除 ※同成分薬:シスプラチン注10mg、50mg「日医工」が常備医薬品として採用あり
11	セレスタチン配合	錠	ヘタメタジン 0.05mg d-グルコルフェニラ ミンマレイン酸 塩0.4mg	-	使用しなくなったため削除
1	ツムラの生薬コウジン末(調剤用)	散剤	-	-	ジクトルテープ75mg採用のため、区分7へ移行
11	ノボセブHI静注用シリンジ	注	5mg	生	使用しなくなったため削除
1	フロジン外用液5%	外用	30mL	-	イルミア皮下注100mgシリンジ採用のため、区分7へ移行
1	レキサルティ	錠	1mg	劇	レキサルティOD錠1mg採用のため、削除
7			2mg		レキサルティOD錠2mg採用のため、削除

【4】特例承認医薬品の採用について

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効等
9	パキロビッドパック	錠	ニルマトレビル錠150mg/ リトナビル錠100mg	-	-	ファイザー	Nirmatrelvir/Ritonavir 経口抗ウイルス剤(SARS-CoV-2感染症治療剤) ★ニルマトレビルがSARS-CoV-2のメインプロテアーゼを阻害し、ポリタンパク質の切断を阻止することで、ウイルス複製を抑制 ★リトナビルはニルマトレビルのCYP3Aによる代謝を阻害し、血漿中濃度を増加させる ★CYP系関連の併用禁忌・併用注意薬が多数あり ★成人及び12歳以上かつ体重40kg以上の小児には、ニルマトレビルとして1回300mg及びリトナビルとして1回100mgを同時に1日2回、5日間経口投与、中等度腎障害の場合はニルマトレビルのみ1回150mgに減量 【特例承認:2022/2/10】

【5】報告事項

1)緊急使用医薬品の薬剤部長承認について

①緊急使用医薬品(合計4品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効等
11	エスカゾール 642	錠	200mg	劇	356.5	グラクソ・スミスクライン	Albendazole 駆虫剤 ★本剤は、腸内寄生虫を対象としている一般の駆虫剤に比べ吸収がよく、また、アルベンダゾール自体に抗寄生虫活性がある他、主代謝物であるアルベンタゾールスルホキシドにも抗寄生虫活性があることから、比較的少量投与で組織内寄生虫の駆虫効果が期待できる ★肺トキソカラ症に対する治療で、他に代替薬がないため 【発売:1994/4/15】
11	ハドセブ点滴静注用 429	注	30mg	劇 ハイリスク	99,609.0	アステラス製薬	※常備医薬品(区分①)にて申請あり
11	ハロマンS 117	注	100mg	劇	2,561.0	大日本住友製薬	Haloperidol Decanoate 持効性抗精神病剤 ★本剤はテモ剤であり、持続的な神経遮断作用と鎮静作用をもち、幻覚、妄想等の改善に有効である ★4週間に1回の筋肉内投与 ★3~4回目の投与で、血中濃度は定常状態となり、反復投与によっても蓄積性はみられない 【発売:1987/9/21】



11	ミッドヘリック250腹膜透析液(排液用バッグ付)342	注	1500mL	-	1,534.0	テルモ	腹膜透析液 ★常備医薬品であるミッドヘリック135の規格では除水量が足りず、体重が増加するため、高濃度である本剤の使用が望ましい 【発売:2001/7/17】
----	-----------------------------	---	--------	---	---------	-----	---

※緊急使用医薬品は、薬剤部長が申請者に対しヒアリングを行った上で、薬剤部長が決裁を行うこととされています。ただし、継続して使用する場合は、次回の薬事委員会において、採用区分に沿った正式な申請を行うこととなります。

## 2)販売中止に伴う代替薬の採用について

現在		代替薬	
ツロブテロールテープ0.5「EMEC」(18.9円)	→	ツロブテロールテープ0.5mg「久光」(18.9円)	2022年2月9日切替済
ツロブテロールテープ1「EMEC」(26.9円)	→	ツロブテロールテープ1mg「久光」(26.9円)	2022年2月9日切替済
ツロブテロールテープ2「EMEC」(34.9円)	→	ツロブテロールテープ2mg「久光」(34.9円)	2022年2月9日切替済
オンダンセトロン注射液4mg「F」(1251円)	→	オンダンセトロン注射液4mg「サンド」(1762円)	2022年1月13日切替済

## 3)供給停止解除に伴う処方オーダーの再開について

オーダー停止代替薬		オーダー再開採用薬	
テモダールカプセル20mg(2155.0円)	→	テモゾロミド錠20mg「NK」(1130.6円)	2022年1月19日オーダー再開
テモダールカプセル100mg(10768.6円)	→	テモゾロミド錠100mg「NK」(5622.3円)	2022年1月19日オーダー再開
代替薬なし	→	ソルダクトン静注用200mg(448.0円)	2022年2月3日オーダー再開

## 4)出荷調整・生産遅延に伴う処方オーダーの一時停止について

ミラクト細粒50%(59.8円/g)	→	院内処方のみ2022年3月1日オーダー一時停止(院外処方可)
--------------------	---	--------------------------------

※取り扱いに注意を要する薬剤について下記区分を記載しています。

麻:麻薬、毒:毒薬、劇:劇薬、向:向精神薬、特生:特定生物由来製品、生:生物由来製品(20年間記録保存が必要な薬剤に限る)、ハイリスク:当院における医療安全上注意を要する薬剤

※採用区分(1:常備医薬品、2:救急用医薬品、3:製剤原料用薬品、4:自由診療医薬品(薬価基準非収載医薬品)、5:再生医療等製品、6:臨時採用医薬品、7:院外専用医薬品、8:臨床研究用医薬品、9:特例承認医薬品、10:放射性医薬品、11:緊急使用医薬品)